

問題【社会】

古代日本の都に関する次の問いに答えましょう。

- (1) 645年に蘇我入鹿・蝦夷が倒された後に移された都を何と言いますか。
- (2) 667年に中大兄皇子が唐や新羅からの攻撃に備えて遷都した都は？
- (3) 694年に持統天皇が即位して建設した、日本最初の本格的な都は何と言いますか。
- (4) 710年に唐の都（長安）になって建設された都の名前は？
- (5) 784年に桓武天皇によって移された都を何と言いますか。
- (6) 794年に（5）から現在の京都市に移した都は何でしょう。

豆知識 雑学コラム

古代日本、繰り返し遷都

皆さんは平城京と平安京の年号ってどうやって覚えましたか？私は「納豆（710）嫌いだ、平城京」「仏の心をなくした（794）、平安京」と覚えていました。覚え方はそれとして… 今回は歴代の遷都についてみていきましょう。

古代日本の都は、政治状況や天皇の代替わりごとに遷都が行われていました。しかし、飛鳥時代に天皇中心の国家体制をつくるためにも大きな都城が必要だと考えられるようになり、持統天皇によって完成しました。藤原京は16年で平城京へ遷都されますが、「宮」ではなく「京」と呼ばれる最古の都と言われています。

続いて登場するのが「平城京」です。平城京の中には多くの寺社が置かれ、東市や西市では地方から送られてきた特産物などが売買されました。天皇が暮らす「宮」の場所が藤原京は中央に、平城京は北に置かれるなど、藤原京と同じく中国を参考にして造られています。奈良時代といえ、平城京への遷都を命じたのは元明天皇です。聖武天皇は恭仁京、紫香楽宮、難波宮、そして平城京へと遷都を繰り返しています。聖武天皇が遷都を繰り返した理由は反乱や災害、権力闘争など諸説あります。

そして平城京の後に登場するのが「長岡京」と「平安京」です。桓武天皇は長岡京に都を移そうとしましたが、長岡京の建造を主導していた人物が暗殺されたり、災害の頻発、疫病の流行が起こります。また奈良時代から僧が政治に影響力を持つようにもなりました。こうした様々な情勢不安などから約10年で平安京へ遷都することになったとされています。平安京に慌ただしく遷都しているようにみえますが、川の流れを変えたりする治水対策も行われるなど綿密な設計でもありました。平安時代は約400年続きます。今までの遷都の反省点が活かされているからこそ長く京都での政治が続いていくのだと思います。

【解答】

- (1) 難波宮 (2) 近江大津宮 (3) 藤原京 (4) 平城京 (5) 長岡京 (6) 平安京